

年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会
会長 国東 照正

明けましておめでとうございます。

皆様方には、平成30年の輝かしい新春をお健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

また、平素は本会の運営に際しまして、格別のご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、我が国経済は、各種政策の効果により、緩やかな回復基調にあると言われているものの、少子高齢化に伴う慢性的人手不足の構造的要因に加えて、地政学リスクに起因する原油高、運送料や人件費等の負担増等、内外の諸要因が経営コストを上昇させており、中小企業においては依然として収益改善が見られず、特に地方においては厳しい状況が続いています。

こうした中、我が国経済の活力の源泉であり、地域経済を支える屋台骨としての使命を担っている我々中小企業が今後とも持続的に発展していくためには、時代の変化を的確に把握し、個々の事業者では対応が難しい経営課題について、中小企業組合をはじめとする多様な連携組織を通じ相互に補完しあうことにより、環境変化に

即応できる経営体質を作り上げていくことが肝要であると考えます。

本会といたしましては、本年も引き続き、会員組合及び組合員の皆様並びに地域の振興発展のため、中小企業団体唯一の専門支援機関として、組合等の連携強化や組織化による創業支援、新分野に進出する中小企業組合支援など国・県の中小企業施策に沿った各種事業をより一層積極的に推進致します。また、厳しい経営環境の中、果敢にチャレンジする意欲ある中小企業と組合の皆様の一助となれるよう、ものづくり・商業・サービスの分野で革新的な取り組みへの支援に努める所存であります。

最後になりましたが、新年を迎え、中小企業組合をはじめとする関係者の皆様方が心も新たに、本県経済の発展と中小企業の振興のために邁進されますことをご期待申し上げますとともに、本年が皆様方にとって希望に満ちた一年となりますことを心よりお祈り申し上げます年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感



四国経済産業局長
長濱 裕二

平成30年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

四国地域の経済は、一部に弱い動きがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられています。さらに、地域経済の好循環を実現していくために、次の4点に軸足を置いて、積極的な取組を展開してまいります。

第1は、未来投資の促進と産業競争力の強化です。

地域が持続的に成長していくために、地域未来投資促進法を活用し、製造業に加え、観光・まちづくり、農林水産・地域商社などの分野において、地域経済を牽引する事業を創出することで、四国の未来につながる投資を呼び込みます。

また、IoTやロボット技術の利活用を柱とした「Connected Industries」に対する投資環境の整備とともに税制や金融面での支援により、生産性向上を推進し、産業競争力の強化を図ります。

第2は、中小企業の事業承継です。

中小企業経営者の高齢化の進展等を踏まえ、事業承継については、今後10年を集中的な支援期間と位置付け、経営者への早期の気づきの促

進から後継者とのマッチング、承継時における税制の利用促進、承継を契機とした経営革新や設備投資支援等まで切れ目のない支援を行ってまいります。

第3は、海外需要の取り込みです。

「四国地域海外展開応援フォーラム」の活動や「新輸出大国コンソーシアム」参加支援機関等との連携により、積極的に海外展開に取り組む企業への支援を拡大します。また、インバウンド需要の獲得にも取り組みます。

第4は、エネルギーコストの低減と安定供給の確保です。

エネルギーシステム改革を着実に進めるとともに、省エネルギーの徹底、再生可能エネルギーの導入及び水素社会の実現に向けて取り組んでまいります。さらに、リサイクルの推進や国内資源の確保、エネルギー供給網の強靱化についても取り組みます。

当局職員一同、関係機関と連携しながら、これらの取組を着実に推進していく所存です。本年も一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎えて



香川県知事
浜田 恵造

明けましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただいております。厚くお礼を申し上げます。また、中小企業の組織化の推進、組合の運営指導や活性化への支援などを通じて、県内中小企業の経営の安定と近代化に努められるとともに、人材育成にも積極的に取り組まれており、深く敬意を表します。

現在、我が国は、本格的な人口減少社会を迎え、加速度的に進む少子高齢化が地域の活力や経済に深刻な影響を与えることが懸念されています。

また、中小企業をとりまく環境は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、人手不足が深刻化しているほか、国際情勢の先行きの不透明感が増しており、引き続き予断を許さない状況となっています。

こうした中、香川県では、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策を着実に進め、「せとうち田園都市の新たな創造」を目指

しています。

とりわけ、「成長する香川」では、地域の強みを生かした成長産業の育成や企業の競争力強化、産業人材の育成など、戦略的な産業振興に積極的に取り組んでいます。

また、昨年4月には、若者や県外からの就職支援拠点、人材不足が顕著な分野における人材確保拠点として、「ワークサポートかがわ」を開設しました。

皆様方には、今後とも、本県経済の発展と地域の活性化に一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

ところで、昨年、県内では、多くの尊い命が交通事故により奪われました。皆様方には、交通ルールの厳守と交通マナーの確実な実践に努めていただきますようお願いいたします。

本年が皆様方にとりまして、穏やかで明るく希望に満ちた年となりますようお願いいたしますとともに、香川県中小企業団体中央会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

年頭に当たって



全国中小企業団体中央会
会長 大村 功作

明けましておめでとうございます。
平成30年の新春を迎え、年頭に当たりまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も全国各地で自然災害が多発しました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

我が国経済は、これまでのアベノミクスの効果により経済の好循環が確実に回りはじめ、景気回復基調にあると言われてはいますが、地域や業種、事業者の規模によって景況感のばらつきがあり、中小企業・小規模事業者の多くはその実感を得られておりません。加えて、深刻化する人手不足や後継者難、地域の疲弊、頻発する自然災害など、厳しい事業環境にあり、その対応に苦慮しております。

このような状況の中で、地域の経済・雇用を支える我々中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、更なる生産性の向上が求められていますが、そのためには個々の努力とともに、連携・組織化による取組みが一層肝要であると考えます。

こうした中、昨年10月26日に長野県松本市で開催しました第69回中小企業団体全国大会には、全国

各地から中小企業団体の関係者2,500名が参集し、「団結は力 見せよう組合の底力! ~地方創成は連携による地域力アップと強力な発信~」をスローガンに、約27,000の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

全国中小企業団体中央会としましては、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮し、IT利活用、人手不足と事業承継を見据えた人材育成などをはじめとする積極的かつ多面的な支援により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者に持続的な成長に寄与すべく活動を展開してまいります。特に、経営力強化・生産性向上、事業承継、働き方改革、消費増税、災害復旧・復興などの重要テーマにつきましては、皆様のより一層のご支援ご協力を賜りながら適切に対応してまいりたいと存じますので、何卒よろしく願い申し上げます。

結びに、本年が中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様にとって、更なる飛躍の1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年元旦

年頭のご挨拶



株式会社商工組合中央金庫
高松支店長 天野 睦

新年明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、当金庫の危機対応業務の不正行為事案に関しまして、国民の皆さまをはじめ、お取引先や株主の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。当金庫は、二度とこのような事態を発生させることのないよう、ガバナンス態勢の強化やコンプライアンスの立て直しなど、再発防止策の着実な実施に、役職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

中小企業の景況感は持ち直しの動きがみられますが、非製造業を中心に人手不足感は強まっております。また、コスト上昇への懸念が高まっています。また、将来的には人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業の経営ニーズは、一層高度化・多様化することが考えられます。

こうした環境において、業績や資金繰りに影響

が生じている中小企業の皆さまからのご相談に対しては、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努めます。成長支援についても、生産性向上を目的とした設備投資、集約化等の事業再構築、人手不足への対応等に関するニーズが見込まれる中、「適時適切な成長資金の供給」、「地域金融機関と連携したリスクマネーの供給」、「海外展開支援」、「M&Aや事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取組みにより、中小企業の皆さまの多様なニーズへの対応を強化してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、再び皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう、また香川県中小企業団体中央会様のますますのご発展と、会員様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます

本年もよろしく願い申し上げます



香川県中小企業団体中央会

会 長	国東 照正	香川県信用組合	理 事	川原 陸	香川県美容業生活衛生同業組合
副 会 長	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	//	斉藤 孝	香川県建築設計協同組合
//	大内 泰雄	香川県商店街振興組合連合会	//	田中 邦彦	香川県食糧事業協同組合
//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	//	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合
//	大峯 茂樹	本場さめきうどん協同組合	//	森 茂	香川県造園事業協同組合
専務理事	村井 真明	専 従	//	佐々木敏晴	香川県漆器工業協同組合
常任理事	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	//	奥田 章雄	香川県印刷工業組合
//	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合	//	津村 潤治	協同組合日専連高松
//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	//	真鍋 道雄	香川県農機具商工業協同組合
//	太田 元	庵治石開発協同組合	//	友國 誠二	日本手袋工業組合
//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会	//	浜本 哲夫	小豆島調理食品工業協同組合
//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	//	篠原 公七	香川県火災共済協同組合
//	佐々木 正富	建設協同組合高松総合センター	//	石田 剛	香川県家具商工業協同組合
//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合	//	国東 宣之	香川県石油商業組合
//	三好 忠廣	香川エルピーガススクリーン協同組合	//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合
//	香西 幸夫	香川県建築事業協同組合	//	新名 淳一	香川県電気工事業工業組合
理 事	楠木 寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会	//	浦 篤正	香川県屋外広告美術協同組合
//	神原 満	川重坂出事業協同組合	//	下本 一彦	小豆島手延素麺協同組合
//	辻村 啓一	香川県砕石事業協同組合	//	木村 一夫	中央会青年部会長
//	木下 敬三	香川県製粉製麺協同組合	監 事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合
//	日下 雅彦	香川県不動産事業協同組合	//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング
//	向井 幸司	香川県自動車整備商工組合	//	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合

クイズイベントはいかがが？



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

皆さま、明けましておめでとうございます。当方の担当も15年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。今回の話題は、「本学2017大学祭でのクイズイベント」です。

毎年10月半ばに開催される本学大学祭では、各ゼミナール単位で何か出展するという不文律があります。昨年は沖縄出身の学生がリーダーとなり、タコライスの模擬店を出店したのですが、今年4月より当方が「キャリア支援担当次長」を拝命したため、何か就活に役立つことをやってみよう、「早押しクイズ大会」を企画しました。つまり、就活の筆記試験で問われる一般知識や時事知識をクイズ問題にして出題し、これに解答することで就活に対する親しみを増すという目論見であり、そのための試行を大学祭イベントとして行ってみようと考えたのです。

当日のイベント運営イメージは、すでに当方の頭の中にほぼありました。実は当方はかつてクイズファンであり、学生時代のことですが、「アタック25」に出場しています。アタック25は現在唯一残っている視聴者参加型のTVクイズ番組ですが、このアタック25の全盛期のような、解答者に対して、当方がかつての児玉清さんのように外連味たっぷりの司会進行をして、出場者が早押し判定ボタンを押して解答権を得て、答えの正解不正解で一喜一憂するという、熱の入ったクイズ大会の光景です。

そこで、後はこれをいかに実現するかと企画を練っていったのでした。9月半ば頃から実際の準備に取りかかりましたが、その準備とは、「PR用ポスターの作成」、「問題の作成(全150問)」、「問題の音声ファイル化」、「ルール説明文等の作成」、「問題消費確認、得点ボードの作成」、「案内貼り紙の作成」、「名前ボードの作成」、「出場者募集」などなど、多岐にわたります。これらを逐次要領よくこなしていったのですが、一番難航したのが「出場者募集」でした。まあ、なんとか集まりはしたのですが…。

ルールは、「(昔の番組の)クイズグランプリ」に準拠しております。問題ジャンルは、「スポーツ」、「芸能・音楽」、「文学・歴史」、「社会」、「科学」、「ノンセクション」の6つで、各ジャンルに10点から50点の5問、計30問を出題しています。就活に役立たせることが大前提ですので、全体の約7割が、本学キャリア相談室備え付けの「時事&一般常識の完璧対策2018年度版(日経HR編集部編)」を出典としています。問題は各ジャンルの低い点数のものから消費し、高い点数のものはひっかけなど、クセのある問題を配置しています。正解者が得点し、次の問題を指定する権利を得て、不正解の場合は減点されます。そして、20分経過し、行っていた問題が終了した時点で、間髪を入れずハンドベルを鳴らし、次の問題を最終問題とし、得点を表示の2倍とするルールを設けています。

問題は音声で出題し、(当方所有の)早押し判定器により解答者を指名するという流れで進行させます。当方は、2台のPCを駆使して、司会、進行、得点入力、問題消費確認など、ワンパーソンオペレーションを実現しようと意気込んでいたのですが、直前のリハーサルの際に、作業が錯綜し、進行のスピード感が著しく損なわれることが判明したため、得点入力、問題消費確認についてはゼミ学生アシスタントに任せ、これで円滑な実施が可能になりました。

大会は10月14日(土)が①秘書科学生大会、②経営学部教員大会、15日(日)が③経営学部学生大会、④一般大会と計4回開きました。それぞれの大会は、当方の(児玉清の真似を含めて)イメージ通りに進行し、想定外の状況はなく、細かいノウハウも得られましたので、試行としては上々の首尾だったと自己評価しています。それぞれの優勝者にはささやかながら賞品を振る舞い、また、終了後には出場者同士で大いに盛り上がり、「機会があれば、またぜひ参加したい!」との声も多数得られました。そこで、今後、キャリア支援課が開催する各種の就活イベントに導入していこうと現在思案中です。

さて、TVの視聴者参加型クイズ番組は、諸般の事情により、かつてより相当廃れていますが、「日本人のかかなりの割合がクイズ好き」なのは確かであり、さらにとくに好きではなくても、自分の得意分野ではクイズ形式の遊びに熱中するという現象が観察されます。また、この巻頭言を書くために久々に「クイズ」で検索をかけ、あちこちHPを覗いてみて、日本全国で様々なクイズ団体が活動していることを知りました。これらの団体では、恐らく杉基イクラのマンガ「ナナマル サンバツ」で描かれている「競技クイズ」の世界が展開されているのでしょう。一般人にはほとんど知られていない、マイナーな世界であることは否めませんが…。

しかし、「(一社)日本クイズ協会」という、クイズの普及を目的とする団体が2016年12月に誕生しており、今後はもしかすると、クイズを取り巻く環境が徐々にメジャーな方向に変化していく可能性もありますね!ただし、そのためには、何より「一般の人がライブ感を存分に味わえる場」を整備することが重要だと思います。そこで、例えば、商店街の空き店舗を利用して、クイズ大会の常設会場を整備するのはどうでしょう。そこには、名司会者や熱意ある問題作成者があり、エンタテインメントとして、出場者のみならずその友人や家族等も楽しめるようになっています。クイズ上級者による本格的な早押しクイズももちろんですが、「親子大会」、「高齢者大会」、「特定分野のマニア大会」、「ギョーカイ大会」など、大会テーマや対象とする出場者を適宜調節することも可能です。現在では、このような発想に基づいた空き店舗の利活用例は全国的にないようですので、ぜひ前向きに検討してくれる奇跡的な商店街が県内に出現することを祈念しております。

情報連絡員合同会議を開催

本会は、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員（19業種、48名）を情報連絡員として委嘱し、毎月の連絡員からの景況報告をもとに業界の現状及び問題点についての情報提供を行っています。（本誌10・11ページ参照）。

11月22日、連絡員の情報交換のための合同会議を本会研修室（高松市）において開催し、22名の出席がありました。情報連絡員レポートの調査結果と業界の景況について本会担当者より説明の後、最近の県内中小企業における業界動向と問題点について各業界を代表して5名の連絡員の方より下記のとおり具体的な発表がありました。

引き続き、本会より各種事業についての案内及び報告を行い、会議を終了しました。

平成29年度 情報連絡員の報告概要

<食料品（製粉製麺）>

原材料の小麦が値上がりしても、転嫁できない。消費量も少し減っている。このような状況ではあるが、年明けうどん等のイベントを継続して頑張っている。



香川県製粉製麺協同組合
安藤専務理事

<印刷>

紙の消費量は減っていない。大企業と比べて、紙の仕入れ価格が高い。当組合の関連団体である全日本印刷工業組合連合会の働きかけにより、国等の契約の基本方針に知的財産権の財産価値について十分に留意した契約内容とするように努める旨が明記された。



香川県印刷工業組合
大家事務局長

<一般機器（一般産業用機械・装置）>

造船関連以外の鉄工業は、震災復興、五輪関連施設の建設、老朽化改修工事等による波及効果で順調な生産を続けている。人手不足の影響で熟練技能者が不足しており、工事施工に支障が出るのが危惧されている。



香川県鉄工業協同組合
俣山専務理事

<建設業（水道工事）>

後継者不足、若年層の雇用が問題となっている。ハローワークに求人を出しても面接に来てもらえない。建築科に入っても水道工事について学ぶことはないの、県内の高等学校に設備科を新設してもらいたい。



高松市上下水道工業協同組合
富田理事

<運輸業（貨物）>

標準貨物自動車運送約款の改正が施行された。積込料や待機時間料等の役務の対価としての料金を明確化して、適正に収受できるようになった。これで少しは、料金を上げられると期待している。



一般社団法人
香川県トラック協会
前谷専務理事

<木材・木製品（木材）>

中小工務店は、ハウスメーカーに押されている上に、外国産の資材は、為替の値動きで値上がりしているが、販売価格に反映できず厳しい業況は継続中である。公共施設での県産木材の利用促進の取組みに期待している。

<鉄鋼・金属製品（鍍金）>

働き方改革を各社取り組んでいる。特に長時間労働の抑制を多能工化、ワークシェアリングで実施している。また、改革を生産性向上と捉え、省人化投資も併せて実施中。しかし、若年層採用が新卒では思うようにいっていない。

<輸送用機器（造船）>

元請け企業が、ここ数年の不振により多額の損失を計上した。このため事業を抜本的に見直すこととなり、坂出工場は事業規模を約3割縮小することが決定した。手持ち工事量は、2018年度末で無くなるので、先を見通すことができない。

<総合建設>

人手不足を解消するための生産性の向上を図るためのICT（情報通信技術）土工の推進といった企業経営上の費用負担増となる動きが急速に打ち出されており、中小の土木事業者にとって費用に見合う効果がなかなか見出せない。将来にわたり安定した工事量と適正な利益が出るような政策を期待したい。

当日欠席の連絡員からは事前に業況報告を頂いており、上記報告には欠席者の報告も含んでいます。



▲会議の様子

「中小企業 新ものづくり・新サービス展」東京・大阪にて開催される

去る11月・12月、各都道府県中央会が平成24年度補正から4年間実施した
ものづくり補助金事業採択企業を対象とした成果発表・ビジネスマッチングイ
ベント「中小企業 新ものづくり・新サービス展」が全国中小企業団体中央会の主
権により東京会場（東京ビックサイト：出展企業約650社）と大阪会場（イン
テックス大阪：出展企業約600社）において各3日間、開催されました。

香川県の企業も東京会場に9社、大阪会場に5社が出展し、展示ブースでは
各社が精力的に自社のPRを行う姿が見られました。また、この展示会では、
ブース展示だけではなく、著名な経営者・文化人等による最先端のビジネス傾
向・実践事例等の講演会が開催され、東京会場に約3万5千人、大阪会場に約2
万人の方が来場されました。

本会では、過去ものづくり補助金事業を実施した企業に対してのフォローアップ事業を展開しています。展示会出展だけでな
く、専門家によるアドバイス、販路開拓に関する助成やビジネスマッチング会などきめ細かいサポートを実施しておりますので、
些細な課題でもお気軽にご相談ください。



▲大阪会場でのオープニングセレモニー

展示会参加企業（順不同・敬称略）

【東京会場】

- | | | |
|---------------|--------------|-----------|
| ●有限会社ファイトロニクス | ●株式会社スマイル | ●ヨークス株式会社 |
| ●株式会社オーキッド | ●株式会社共栄食糧 | ●株式会社ウチダ |
| ●ウインセス株式会社 | ●株式会社アーバンレック | ●株式会社フジコー |

【大阪会場】

- | | | |
|--------------|---------------------|--------------|
| ●大成薬品工業株式会社 | ●ホリアキ株式会社 | ●香川シームレス株式会社 |
| ●株式会社川上板金工業所 | ●エフエム高松コミュニティ放送株式会社 | |

（お問い合わせ先）

香川県地域事務局 フォローアップ事業室 TEL 087-802-2535

会員ニュース

商店街を会場に坂出商高の販売実習、開催される

坂出元町名店街商店街振興組合 他

12月9日～10日、坂出元町名店街、本通り商店街及びイオン坂出店において香川県立
坂出商業高等学校の全生徒による販売実習「坂商フェア セキレ」が行われました。

この販売実習は平成5年度から生徒自身が仕入れから販売、経理までを実践することを通
して、責任感や仲間同士の連帯感、協調性、礼儀等を身につけ、成就感を体験し、豊かな
人間性を育成することを目的に実施されており、平成21年度からは、地元商店街の活性化
を図るため、商店街や坂出市等の協力のもと商店街を会場として開催されています。

25回目となる今回も商店街に生徒たちが16店舗の店を構え、雑貨、独自企画商品、初
出店のカレー屋やチョコレート専門店をはじめ、懐かしい学校給食のデザートを提供する店、
市内のパン屋の人気商品を集めた店などが運営されました。また、来場した子どもたちがパ
ティシエや銀行員などの「仕事体験」ができるブースも開設され、生徒たちはそれぞれの来
店客に笑顔で対応していました。

本イベントの会場となった坂出元町名店街商店街振興組合の増田成宣理事長は「毎回、
教師・生徒併せて500名もの人達が店舗を構え、保護者や地元の方々が大勢買い物に訪れ
ます。空き店舗の多い商店街に昔の賑わいが戻ったようになり、商店街の活性化と共に、生
徒の販売意欲が各商店に対して良い刺激になり、本当にありがたく思います。これからも商
店街としてできる限りの協力をしていきたいです」と述べられました。



▲商店街に生徒たちの威勢のいい声が響く





寒波到来を受けて冬物商材の需要が 増大して売上高DIが大幅に上昇

2017年11月




























Industry Information






















製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●人材不足が深刻化している。若者の就職率も低下している。(惣菜) ●出荷高は、前年同月比96.7%であった。(調理食品) ●9月の冷凍食品の数量は、前年対比111%と非常に高い実績となった。また、1～9月の数量においても104.4%とニーズの高さが見られる。市販用では簡便性を、業務用では人手不足が大きな理由に考えられるが、メーカーも人手不足は同様の課題であり、働き方改革が急務となっていると感じる。(冷凍食品) ●組合員の業況は、11月単月においても販売不振が続いていると推察される。売上高は減少の傾向にある。当組合の生場販売数量についても前年同期比93%程度(4月～11月)で推移している。原料の脱脂大豆は10%程度値下がり(11月の対前年比)、小麦は10%程度値上がり(11月の対前年比)した状況であり、原料価格の変動が利益にどの程度影響しているかは、12月末決算で推計したい。(醤油)
	繊維・同製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●首都圏での寒さの影響で販売は底を脱した感があるが、企業によっては景況感にバラツキがある。また、例年であれば製造は既に終わっている時期であるが、納入先から発注遅れのため、未だに製造に追われている企業があるが、バーゲン用に使われそうである。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●製材は、昨年とほぼ同様であり、やや弱含みである。市場は、昨年より、やや上昇している。プレカットは、ほぼ昨年と同様である。(製材) ●従来であれば秋需要があり、期待していたが、天候不順のためか需要は伸びなかった。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●各事業所からの業況を取りまとめると、前年度の売上高は辛うじて現状維持か微減である。まだまだ中小企業において景気好転の傾向は見えていない模様である。(印刷)
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●初秋頃から悪化し始めた売上が、ここにきて完全に停滞してしまった。多少、受注を持っている事業所も、収益性が低く、内容は良くない。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●2018年新卒採用活動が終了し、2019年の採用に向かうところであるが、当業界は苦戦を強いられている。補強のためには、中途採用、高齢者、女性活用等あらゆる手立てを講じなければならない昨今である。(鍍金)
	一般機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●造船関連の業種を除き、鉄工業は市況の好転から緩やかではあるが生産量を伸ばしている。国内は、震災復興と首都圏での五輪関連施設の建設、インフラの整備が本格的に動き出し、改修工事と併せて建設用クレーン、高所作業車製品、砕石プラント、港湾、橋梁構築物、汚濁処理施設製品は、コンスタントな受注により前年を上回る業績を堅持している。建設用鉄骨、鋼構造物鉄骨加工は、県内の新築ビル工事が続き、中小零細工場共に繁忙である。鉄工業各社は人手不足が深刻で中でも建設用鉄骨加工は、熟練技能者から鉄筋、型枠工にいたる全ての職種で採用が困難である。採算面では、輸入用材料、鋼材価格の値上げ、人件費の高騰により経費負担が増加した。ただ、受注単価は、リーマンショックから20%前後上昇して、収益は伸びている。当分売上高は好調を維持するものと思われる。(一般産業用機械・装置)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事量、人員は少しずつ減少傾向にあります。元請企業からは具体的な方向性、仕事量の説明がないので、不安な声が聞かれます。(造船)
	その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●今の時期は、当業界は全体的に動きがないようです。(団扇) ●11月は伝統的工芸品振興月間で、綾川町で初めてのイベントを開催した。組合員15社が参加し、香川漆器のPRと販売を行い、まずまずの成果を収めた。また、高松市内の百貨店でも恒例の伝統工芸品展があり、こちらも前年並みの売上があった。(漆器) ●11月の業況は、前年同月と比べて売上が上昇しましたが、小売業の部門では減少しています。自衛隊の布団のおかげで上がっていますが、小売業の売上が悪いです。小売業だけで商売をしているところは売上高を落としています。近所の店舗も完全閉店セールをしています。本当に店を閉めるのか分かりませんが、苦しいのは確かです。(綿寝具)
	非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ●台風21号の後、各地の野菜の生育が悪く、色々な品目において高値が続き、金額が上がっても収益率は悪くなった。(青果物) ●卸売価格の上昇による小売価格への転嫁が大体完了したが、資源エネルギー庁の発表による販売数量減は前年比2%であるが、組合員の減少は3～4%という実績のようである。組合員の人材(採用)確保が難しい。特に新卒者(高卒を含む)は、ゼロ採用のところが多い。確保できているのは、一部の中堅組合員のみという状況である。(石油) ●11月は、これといった話題はないものの、市場は大変厳しい。家電全般の動きが悪い。一部の販売店は、リフォームに力を入れて成果が上がっている。(電機)

11月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-18.8ポイントで前月調査と同様の結果となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-6.3ポイントで前月調査の-16.7ポイントから10.4ポイントの改善となった。収益DI値は-18.8ポイントで前月調査の-22.9ポイントから4.1ポイントの改善となった。例年より早い寒波到来を受けて、冬物商材の需要が増大して売上高を押し上げた。年末年始を前にして、製造コストの増大に加えて労働力不足が継続している。

非製造業	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●政局の安定と株高を背景に景気上昇につなげたいところではあるが、相変わらず政治不信と先行きの不透明感、実感のない所得増で消費者の財布のヒモは固いままである。ただこのところの大手企業の好決算や賃金、雇用の改善は、やがて地方や中小企業にも追い風となる期待をしており、何とか好循環につなげてもらいたい。例年より気温が低く、季節関連商品の動きが良い。中でも、ここ数年右肩下がりであったアパレルが堅調さを取り戻している。バッグ等を除き、高級品(時計、絵画、宝飾)も好調で消費を牽引している。飲食店は、少し高額でも集客している店もあるが、一方では個性を出せず売上低迷の店もあり、明暗が分かれる。(高松市) ●高松市内の朝日町と松福町に連続してスーパーがオープンしました。商店街内にあるスーパーは大きな影響を受けているようです。商店街に来る回数が、これからは減ってくるでしょう。居酒屋が1軒オープンし、12月も1軒オープン予定。この商店街も居酒屋ばかり次々とオープンし、商店街が変化しています。(高松市) ●まだ原材料の価格上昇が続いているが、価格転嫁できない。(坂出市) ●消費のチカラは相変わらず弱い。景気うんぬんなど外部環境を期待しても仕方ないと思う。商店街でいくつかのイベントが行われたが、個店の売上げ効果は別として、「来客はあった」と手応えを感じた。郊外型SCのイベント・売場の提案は画一的で、消費者にも飽きが来ている。まち独自の特色・個性を持つのは昔からの商店街で、それを生かしたアミューズメントを創造できれば、何か社会的役割を果たすことができるのでは、と感じた。(丸亀市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●年末・クリスマス商戦に向けた工事の消化を行っている。下請け等の確保が困難な場合がある。(ディスプレイ) ●11月は、微増ながら学会、育樹祭等のイベントがあり、ほぼ前年比をクリアできた。ただ、12月は、例年言われるが、忘年会も小さくなり、ホテル等では少なくなっている。厳しい冬を迎えそうである。(旅館) ●昭和32年6月議員立法により環衛法が成立。その前年の昭和31年にコールドパーマの最低基準が制定され、日本の美容業界においてパーマが定義付けられた。その後、パーマブームとなるソバージュブームと重なり、パーマバブルとも言うべきピークを迎え、ストレートパーマ、加熱式パーマと推移してきたが、60周年の本年、足踏み状態となった。(美容)
	建設業 	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用人員については、減少傾向にある。働き方改革の法整備が進められる中、若年労働者の入職を促進し、定着を図っていくためには、建設業において、中小企業時間労働の是正、週休2日制の普及といったことが必要不可欠となってきているが、そのためには企業の安定した経営がなければならない。企業の経営努力は当然のことであるが、改正品質法の運用指針の趣旨でもある「適正利益の確保」について、公共事業に関わる全ての方に、改めて再認識して頂きたい。(総合建設)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地方の景気回復の遅れ等により、長期的に運賃収入、輸送収入が減少しており、非常に厳しい経営状況が続いている。また、乗務員不足が深刻化しており、輸送需要が集中する午前中の時間帯を中心に、十分に対応できていない状況にある。(タクシー) ●平成29年10月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は、3.8%増となり、対前月比では3.3%増となった。また、10月分利用車両数の対前年同月比は、3.3%増となった。(トラック)

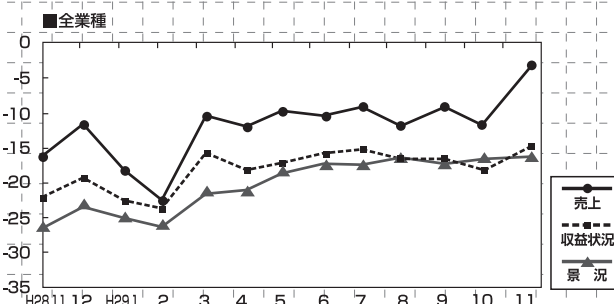
香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

		売上高	収益状況	業界の景況
製 造 業	食料品			
	繊維・同製品			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	一般機器			
	輸送用機器			
	その他			

		売上高	収益状況	業界の景況
非 製 造 業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
	その他			

※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

全国集計によるDI値の推移 (対前年同月比)



商工中金だより

総合金融サービスのご案内

経営ニーズへの対応

M & A	企業の紹介・企業価値の算定から諸条件の調整・最終履行までお手伝いいたします。
事業承継対策	事業を承継される個人・法人の方に対し、株式取得資金をはじめとするあらゆる資金ニーズに対応いたします。また、専門家と連携した自社株対策や、オーナーが後継者に自社株を売却した際の資金運用手段のアドバイス、後継者がいない場合のM&Aのサポートも行います。
ビジネスマッチング	商工中金の全国ネットワークを使って、仕入先・販売先、技術・業務提携先など法人のお客さまの本業支援につながる取組として、ビジネスパートナーをご紹介します。
株式公開支援	資本政策のご提案、内部体制整備のご相談、証券会社・監査法人のご紹介などお客さまの立場に立ってアドバイスいたします。
不動産有効活用	フランチャイザーや不動産専門業者のご紹介など遊休地の活用をサポートいたします。
コンサルティングなど	上記のほか、株式会社商工中金経済研究所により専門的な経営相談業務や組織の見直し・人事労務関連など、経営コンサルティング業務を行うとともに、各種セミナーなども実施しています。

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052
高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 融資制度のご案内 ●

下記掲載は融資制度の一部ですので、詳しくは各事業までお気軽にお問い合わせください。

○創業支援貸付利率特例制度の概要(国民)

融資対象者	新たに事業を始める方または事業を開始して税務申告2期未満の方
融資限度額	各融資制度に定める融資限度額
ご返済期間	各貸付制度に定めるご返済期間以内
利率(年)	各融資制度に定める利率-0.2% ただし、女性または35歳未満の方およびUターン等により地方で創業する方(注)は各融資制度に定める利率-0.3% (注)Uターン等により地方で創業する方とは、仙台市、東京23区、名古屋市、大阪市、福岡市(以下、都市と言います。)に居住または勤務している方で、都市以外で創業する方をいいます。ただし、東京23区に居住または勤務している方については、東京23区を除く都市で創業する場合も含まれます。

○新事業活動促進資金(経営強化関連)の概要(国民、中小)

融資対象者	中小企業等経営強化法第13条に基づき経営力向上計画の認定(変更認定を含む。)を受けた方
資金使途	設備資金、運転資金
融資限度額	【国民生活事業】7,200万円(運転資金は4,800万円) 【中小企業事業】7億2,000万円(運転資金は2億5,000万円)
ご返済期間(うち据置期間)	設備資金 20年以内(2年以内) 運転資金 7年以内(2年以内)
利率(年)	基準利率 ただし、設備資金(土地に係る資金は除く)については、①国民生活事業は7,200万円まで、②中小企業事業は2億7,000万円まで、それぞれ基準利率-0.9%

○HACCP資金(食品産業品質管理高度化促進資金)の概要(農林)

融資対象者	食品の製造または加工の事業を行う中小企業者(協同組合等を含む)
資金使途	HACCP導入やその前段階の衛生・品質管理のために必要な設備資金 上記に併せて支出される、施設の円滑な立上げに必要な、システム開発費等の費用(特別の費用等) (指定認定機関の認定を受けた高度化計画又は高度化基盤整備計画に基づく事業)
融資限度額	事業費の80%以内又は20億円のいずれか低い額
ご返済期間(うち据置期間)	10年超15年以内(3年以内)
利率(年)	ご融資額 2億7,000万円以下 0.20~0.35%(**) 2億7,000万円超 0.35~0.50% (H29.12.20現在) (**)資金使途により2億7,000万円超の金利が適用になるケースがあります。

〈支店窓口〉

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 (URL:<http://www.jfc.go.jp>)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.087-851-0198 Fax.087-822-9274

中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

香川県特定最低賃金(4業種)が改正されました

平成29年12月15日から

- 1 冷凍調理食品製造業は、時間給 **767 円**
- 2 機械器具等製造業は、時間給 **890 円**
- 3 船舶製造・修理業、船用機関製造業は、時間給 **903 円**
- 4 電気機械器具等製造業は、時間給 **841 円**

に改正されました。

ご不明の点につきましては、
香川労働局 賃金室
(Tel.087-811-8919) へ
お問い合わせ下さい。

中小企業大学校研修の御案内

経営判断できる幹部の思考力

- 日 時 平成30年2月20日(火)～2月22日(木)/3日間
- 会場 中小企業大学校関西校(兵庫県神崎郡福崎町高岡)
- 内容 企業成長と経営幹部の役割
- 対象者 経営幹部(部長、工場長、部門長クラス(経営後継者含む)、管理者(課長クラス))
- 受講料 31,000円(税込)
- 定員 30名
- 研修のねらい 経営幹部には、経営者が示す経営戦略の実行の要として経営戦略を理解し、社内外の調整を図りながら実行に移す力が求められています。
この研修は、現場で経営幹部が直面する様々な場面について、どのような判断材料を収集し、判断を下すべきかを考えることにより、経営幹部に求められる役割、必要な思考・視座、知識を実践的に学ぶことを目的としています。
- 講師 徳島文理大学 人間生活学部 教授 竹内 伸一
県立広島大学大学院経営管理研究科 准教授 村上 敏也
株式会社電通 電通総研 リサーチ・ディレクター 南 太郎
- 詳細情報 <http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/details2017/100556.html>
- お問い合わせ先 中小企業基盤整備機構近畿本部 中小企業大学校関西校
兵庫県神崎郡福崎町高岡 Tel. 0790-22-5931

※(公財)かがわ産業支援財団では、中小企業大学校研修を受講される方に対して、受講料と旅費を助成するお得な制度があります!!
(公財)かがわ産業支援財団(087-868-9903)まで、是非、お問い合わせください。

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	モデルが秘密にしたがる 体幹リセットダイエット	佐久間健一	サンマーク出版/1,080円
2	漫画 君たちはどう生きるか	吉野源三郎:原作 羽賀翔一:漫画	マガジンハウス/1,404円
3	プラタモリ11 初詣スペシャル 成田山 目黒 浦安 水戸 香川(さぬきうどん・こんびらさん)	NHK「プラタモリ」 制作班 監修	KADOKAWA/1,512円
4	屍人荘の殺人	今村 昌弘	東京創元社/1,836円
5	おもしろい!進化のふしぎ ざんねんないきもの事典	今泉忠明 監修	高橋書店/972円

香川県書店商業組合調べ

平成28年4月1日から制度改正されました!!

経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか?

「年金だけでは不十分で不安」
「自分で積み増しするには？」
そんな時に!!

ゆとりある老後に…

小規模企業共済

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が
廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

制度改正でより便利に、より有利になりました。

制度の特長

本制度は、小規模企業共済法に基づき、国がつくった「経営者の退職金制度」です。

1 全国133万人が加入

昭和40年に発足した実績ある制度で、現在は全国の経営者約133万人が加入しています。(H29.3末現在)

退職金の準備を中小機構がお手伝いします。

例えば、毎月の掛金を3万円とした課税対象所得400万円の方の場合は、年間約11万円
の節税になります。

2 掛け金は全額所得控除

掛け金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

加入できるのは…

常時使用する従業員が20人以下(宿泊業・娯楽業を除くサービス業、商業では5人以下)の個人事業主、個人事業主の共同経営者、又は会社等の役員の方が対象です。

退職所得控除だと勤続年数(共済では契約年数)×40万円が非課税になります(20年を超える分は年70万円)。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

契約者貸付けの利用が可能

契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

国がつくった経営者のための退職金制度です!

〔すでに本制度に加入されている方は…〕 共済制度の運営機関

掛金月額1,000円～70,000円の範囲内で自由に設定できます(500円きざみ)。



小規模企業共済

検索

www.smrj.go.jp/kyosai/skyosai/

お申し込み・お問い合わせは…

香川県中小企業団体中央会

〒760-8562 高松市福岡町2丁目2番2-401号(香川県産業会館)
TEL 087-851-8311 FAX 087-822-4377

共済キャラクター
きょうこちゃん



ご活用ください。 産業雇用安定センター

（当センターは、厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業なき労働移動」実現にむけて、全国ネットで出向・移籍等の支援業務を行っています。）

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入（途中採用）や人材の送出（雇用調整による再就職支援など）をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは



公益財団法人 **産業雇用安定センター 香川事務所**

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20（高松センタービル8階）

TEL.087-851-1011
FAX.087-851-1014

ご利用時間

9:00~17:00
（土・日・祝日は除く）

